

# 1 2 月 度 常 議 員 会 議 事 録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成22年12月20日（月） 15：00～17：00

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 森本支部長

常 議 員 岸 本、笹 村、服 部、藤 井、藤 田、藤 谷、村 上

黒 田、鈴 木、田 路、田 辺

支部監事 岩 下

事 務 局 児 玉

## 【審議事項】

### （1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

### （2）理事会報告、臨時支部長会議の件

- 支部長より12月1日(水)に開催された臨時支部長会議と15日(水)に開催された理事会について報告が行われた。

臨時支部長会議の主な報告としては、「各支部における代議員定数に関する議論について」であった。

理事会の主な報告としては、「2011年度日本建築学会大会（関東）の参加費について」、「2012年度大会開催担当支部について」、「新法人制度への対応について」、「建築教育認定事業委員会・建築教育国際化特別調査委員会報告」などであった。

### （3）12月度本部学術推進委員会報告

- 12月10日(金)に開催された本部学術推進委員会の報告については、鈴木克彦常議員（当支部代表本部学術推進委員）から報告が行われた。

主な報告としては、「2010年度大会（北陸）概要報告」、「2010年度大会研究集会資料の頒布アンケート結果」、「2011年度技術部門設計競技応募要領」、「2011年度予算配分」、「小委員会活動成果報告提出依頼」、「第49回（2010年度）竹中育英会建築研究助成金交付者」、「2011年度国際交流振興基金援助事業申請について」、「会員、常置調査研究委員会、[若手奨励]特別研究委員会の年齢分布」、「2011年度大会関係」、「運営委員会・小委員会の廃止・設置申請」、「2011年度開始特別研究委員会・[若手奨励]特別研究委員会テーマ選考結果」、「委員会活動報告会」、「予算執行状況」、「組織再編」などであった。

### （4）支部報告 1. 事業報告

## 2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。
- (5) 事務所維持預金の取り崩しの件
- 事務局より、今年度の収支予算では680万の預金取り崩しを計画していたが、収支のバランスが年度当初の計画より良好なため、500万を取り崩すと提案があり承認された。
- (6) 2011年日本建築学会大賞業績候補推薦の件
- 作成された岡田光正君（大阪大学名誉教授）の推薦書類については承認され、本部に提出することとした。
- (7) 2011年日本建築学会文化賞候補業績推薦の件
- 各役員にて候補者の検討がされたが、今回は本部への推薦は見送ることとした。
- (8) 平成23年度事業計画の件
- 事業計画(案)の内容に関する説明が事務局からあり、原案を承認することとした。
- (9) 平成23年度収支予算の件
- 昨年度から実施された公益法人会計の見直しに伴い、今年度も事前に本部財務部と調整した内容も含め全体についての説明が事務局からあり、原案を承認することとした。
- (10) 平成23年度各部会費決定の件
- 岸本学術常務幹事より、常議員会の前に開催された研究委員会にて、来年度の各研究部会予算を審議した結果の報告があり、各研究部会の予算案は承認された。
- (11) 当支部ホームページの内容について
- 今回も日本マーケティングの隣氏が出席され、前回の常議員会にて意見のあった内容を踏まえて新たな提案と説明および予算についての報告があった。
  - 提案内容については概ね認めることとしたが、トップページおよび各研究部会ページのバックデザインと支部名のフォントについて修正の意見が示された。
  - トップページおよび各研究部会ページのバックデザインと支部名のフォントについては、田路常議員が原案を作成することとした。
  - 予算については、当初に想定していた金額より大きく膨らんでいたため、事務局と日本マーケティングで調整することとした。

### 【報告事項】

(1) 設計競技「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境  
の設計」の応募結果と一次審査会の終了報告

- 11月26日に応募が締め切られた結果、一般部門で21点、学生部門で52点の応募があった。
- 12月17日に開催された一次審査会において、一般部門で7点、学生部門で10点の作品が公開審査会に進むことになった。
- 公開審査会は、1月10日に開催されるとの報告があった。

以 上